

# 望年山行 ハヶ岳 アイスクライミング山行報告

日程:12月2日(土)・3日(日)

メンバー:CL 松原・小原・萱野香・萱野宏・前田・山本

行程:【1日目】千葉集合5時半→赤岳山荘駐車場着8時半→出発9時15分→赤岳鉱泉着10時30分→テント設営後、裏同心F1取り付き13時半→大同心陵16時半→赤岳鉱泉着17時

【2日目】起床5時半→赤岳鉱泉発8時→ジョウゴ沢F1取り付き8時半→乙女の滝10時半→下降開始15時→赤岳鉱泉16時半→赤岳山荘18時

## 1日目:裏同心ルンゼ～大同心稜下降 アイスルート

千葉集合5時半。赤岳山荘までのオフロードに耐えられる萱野家のデリカを出していただき、一同美濃戸口へ向かう。

赤岳山荘駐車場に着くと、ちょうど硫黄岳グループのKさんらと遭遇、写真を撮っていただいた。



CLとMさんはガチャ類や共同装備の皆のテントなどを背負ってくださり30キロ以上の装備で先頭を歩いていただいた。私もついていこうと必死で歩いたがなかなか追いつけない・・・もっと鍛えないと！

それぞれのペースで赤岳鉱泉へ向かう。

テント設営後、病み上がりのOさんは体調が万全でないとのことでテントに残ることに。

5名で裏同心ルンゼへ向かった。

裏同心ルンゼはF1～F6までの入門ルートで、シーズン始めは混むのでは…と懸念していたが、それほどでもなかった。これは上へ抜けられそうだ！



F1 取り付きには2パーティーほどが先行していた。

CLのトップでスタート。軽やかにスクリュウを決め上がっていく。

好天に恵まれ、雲ひとつない空に大同心が浮かび上がる。

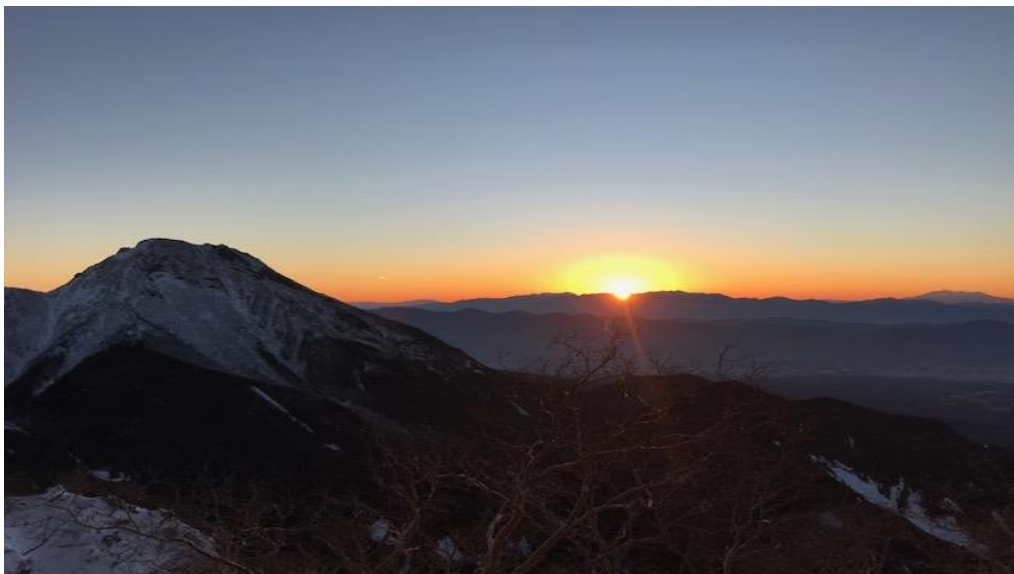
こんな絶景の中で、心地よく刺さるバイルとアイゼンの感覚を楽しみながら真冬の沢登りをする、、、なんて贅沢な遊びだろう！







大同心稜へは所々凍った草付きをつめ上がり緊張した。  
稜線上からみた夕陽に浮かぶ赤岳・阿弥陀岳を眺め、ホッとして感動のあまり目に涙が浮かんだ。  
オールトップでロープを引き上げてくれたCL、一緒に登ってくれた皆には感謝の気持ちでいっぱいでした。  
ありがとうございました！



1日目記録：山本

## 2日目：ジョウゴ沢・乙女の滝

朝、5時過ぎ起床。昨夜たくさんごちそうをいただいたのにお腹ペコペコ。野菜ラーメンを食べて、コーヒーを飲み、ワイワイゆっくり準備開始。今日はヒロさんはお休みで、風邪っぴきで鉱泉でパワー充電中だった0さんが参加だ！

8時に赤岳鉱泉発。硫黄岳に向かって10分程歩くとジョウゴ沢の出合に。ジョウゴ沢とかかれた看板もあり、そこからしっかりしたトレースを辿りジョウゴ沢を上っていく。

20分くらい行くと15mの滝に到着。十数人いるか、3パーティーが取りついていました。少し待ってあいたところを登る。所々薄い所があり流水が見える。



中間エイトで順番に登っていると、ちば山別隊のジョウゴ沢まで足を伸ばしたという皆さまが滝の下に到着。ちょうど登っていた0さんを応援してくださっていたみたいです。なんか嬉しいし楽しいですね。抜けていた可能性もあったし会えて本当によかった^^





ちば山別隊が滝下に到着

その先を行くと開けた河原に出て右俣との分岐になるので、左の本谷を進む。  
広い河原を歩き日の当たるところで休憩。少し風があるのでぼかぼかとは言えませんがお日さまはやっぱりうれしい。パンとお湯が美味い^^



日向で休憩・・・ハイチーズ☆

その先は右曲がりにゴルジュにさしかかり、ゴルジュの中 3m8m8m くらいの滝を3つ  
抜けると乙女の滝(20m)に到着。

人気ルートで取りつけるか不安だったのですが、大穴となったのか2パーティーの  
みが乙女の滝に。







CLが左端の氷柱を回り込んだところから登り始めるラインをとる。氷は固そうだし難しそうだけれど攻めて登りきり、トップロープをかけてもらう。あとは各々登りやすい所を順番に登る。楽しいです^^ただ落氷があるので常にピリッとしていなきやです。乙女の滝すぐ右のナメ滝にもトップロープをはる。今回は風が強くて寒さが少し辛いけれど登ったりアバラコフを作ってみたり楽しい。Oさんの登りが果敢で面白かったみたいだけれど見逃して残念です。皆で少しずつでも上手になったかしら。だといいな^^

いっぱい遊んで下山開始。急いで下の駐車場まで降りる。

2日目記録：前田